

様式第2号（第9条関係）

会議録

会議の名称	令和7年度第1回子ども・子育て会議			
開催日時	令和7年11月14日（金） 開会時刻 午後1時30分 閉会時刻 午後3時20分			
開催場所	ふじみ野市役所第3庁舎2階C201・C202 会議室			
出席した者の氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
	会長	小栗 俊之	事務局	増村 規子
	副会長	山城 いづみ	〃	桑子 恵美
	委員	栗原 貴紀	〃	齊藤 隆之
	〃	伊藤 愛	〃	細田 春恵
	〃	阿部 雪絵	〃	関根 寛之
	〃	安野 隆史	〃	仲谷 竜介
	〃	大野 伸治	〃	鈴木 優子
	〃	庄司 亜沙子	〃	仲野 公堅
	〃	戸塚 成子	〃	大川 優生
	〃	刀禰 瑤子	〃	佐藤 学
	〃	貝塚 健	〃	三原 加奈
			〃	土屋 範久
			〃	川島 美紀
会議の議題	(1) 第2期子ども・子育て支援事業計画及び第2期子どもの未来応援プランの実績報告 (2) こども誰でも通園制度について			
会議の公開又は非公開の別	公開			
会議の非公開の理由				
傍聴人の数	0人			
会議の内容	別紙のとおり			
会議資料	別添のとおり			
事務局	こども・元気健康部子育て支援課			
議事の確定	確定年月日	令和7年11月28日		
	記名押印 又は署名	会長 小栗 俊之		

別紙

発言者	発言の要旨
	<p>1 開会</p> <p>2 議題</p>
事務局	<p>議題（１）第２期子ども・子育て支援事業計画の実績報告について事務局より説明</p>
小栗会長	<p>ありがとうございました。議題（１）第２期子ども・子育て支援事業計画の実績報告について、委員の皆様から何かご意見ご質問等はございますか。</p>
山城副会長	<p>実績報告の86番、市子連の活動内容についてであるが、ジュニアリーダーという、かるたの大会で審判をするものを中学生に依頼している。コロナ前は10人くらいの中高生がいた。小学生でかるたを体験し、その子たちがジュニアリーダーとなっていく構図であったが、コロナ禍でとまってしまった。その流れをどのように戻すかが課題で現在取り組んでいる。</p>
栗原委員	<p>実績報告の131番、こどもの未来を育む条例について。令和4年度に実施されたシンポジウム参加した。その時にこどもの思いを聴いたので、令和5年度に実施した公園のボール遊びを考えるワークショップにおいて、こどもの意見が反映されたことは喜ばしいことである。一点質問だが、ワークショップの際に他のボール遊びのことなど、こどもからの意見はあったか。</p>
事務局	<p>ワークショップでは、リングなどを要するバスケットボールやゴールが必要なサッカーなどの要望もあったが、現実的に公園でのお祭りなど他の活動があることで設置が難しい旨を情報共有し、話し合った結果としてこどもたちも理解した上で現状の遊びの形となった。なお、現場で遊んでいるこどもたちに実際にボール遊びができるようになっての感想を聞いてみると、近くの公園でボール遊びができることに満足していた。</p>
伊藤委員	<p>実績報告の107番、児童発育・発達支援センター事業について。公設化したことがとてもありがたい。現在、自分のこどもたちが高校生であり、巡回相談、個別相談を受けてもらっているが、中学生の時に相談事をどちらにしたらいいか分からないことがあった。様々な相談先を明確にし、周知啓発をしてほしい。</p>
事務局	<p>現在、発育・発達支援センターでは、18歳までのこどもを対象として各種相談を受けている。各々にあった相談体制を敷き、活動内容などを拝見させていただいた上で、保護者と相談しながら対応している。また、教育相談室との連携が取れる体制となっている。</p>
阿部委員	<p>実績報告の131番の条例における公園でのボール遊びにつ</p>

	<p>いて。私立幼稚園PTA連合会は4つの幼稚園から成り立っており、毎年市に要望書を出している。ボール遊びのできる公園がないことについても要望させていただいていたが、一部で実現ができていることはありがたい。要望に対して市に歩みよっていただいている。</p>
安野委員	<p>実績報告の107番、児童発育・発達支援センター事業について。幼稚園では、保護者から何らかの発達に関する内容の相談があった時は、発育・発達支援センターへとつなげている。また、そのようなこどもが増えているので、受け入れ体制が課題。市としてサポートいただければありがたい。他の施設ではわからないが、場合によっては受け入れができない場合もあるので、市内全体の施設での受け入れを考える対応ができるとありがたい。</p>
事務局	<p>市では支援体制として、幼稚園、保育所、学校に臨床心理士が支援者(先生)の支援(相談)やケースカンファレンスなどを行っている。そのような場を活用していただき、積極的に話をいただきたい。発育・発達支援センターの事務所でも相談は可能である。</p>
大野委員	<p>実績報告の21番、一時預かりについて保育園としての意見。一時預かりは、保護者のニーズが重要で預けたい年齢層などの要因の分析が大事だと考える。現在、登園では0歳から受け入れているが、職員の体制上、定員に限りがあるので現状は預かりができない場合もある。0歳児のいる家庭はワンオペなどで困っている方が多い。</p>
事務局	<p>公立でも一時預かりを行っているが、こども誰でも通園制度は0歳6か月からの預かりになるので、4月までに何とか整備を進めなければならない。私立保育園にも協力をいただきながら、進めていきたい。</p>
庄司委員	<p>配布された資料を見ると、内容がたくさんあり積極的に子育て支援の取組に動いていただいていることが分かる。コロナ過より、事業が進んでいると実感できる。自分もコロナ禍に出産し、出かけるのにも困っていたが、よくなってきていることが実感できている。仕事では、障がい者デイサービスセンターに務めており発育・発達支援センターと関わっているが、学齢期の障がいのある児童の受け入れ先がないと聞いている。相談も受けられず、セルフプランの方が増えている。事業所もだが、市にも協力・お力添えをいただきたい。</p>
事務局	<p>御意見のとおり、事業所の相談先が見つからずプランが立てられないとの声をいただいていたことから、そのようなことの打開策として、国から3年間限定で補助金を得て、事業所の相談・ケアプラン業務の協力に対して、受けていただいた場合には1万円の補助を出すこととした。今年度は、11件の対応をいただいている。</p>
戸塚委員	<p>外国籍のこどもたちは言葉が通じずないことで、施設への受</p>

	<p>け入れが煩雑・困難であったりする。また、日本語がわからないから発達に問題があると誤認される。そのような言葉の壁の対応をお願いしたい。</p>
事務局	<p>市としても外国籍のこどもに対する支援の重要性を理解し、現在のこども計画にも施策として明記し、対応を進めている。言葉の問題で違う方向に進んでしまわぬよう、これからも対応してまいりたい。</p>
刀禰委員	<p>実績報告の22番、児童センターについて。利用者数が多いことに関心がある。イオンタウンでは、COTOKOTOといったこどもの居場所を他の民間企業主催で12月に開設予定。こども食堂や親の相談を実施し、場所はイオンタウンふじみ野内を貸出する。プレオープンを11月に行ったが、好評であった。</p>
貝塚委員	<p>全体的に資料が見やすく良い。取組としては、飯能信用金庫ふじみ野支店などにはフードバンクなどの表示があるなど、企業を含めて実施されていることは、とてもありがたいと思っている。実績報告の131番、条例に関するボール遊びの場があることは、とてもありがたい。地域のこどもでも近くの公園で育ち野球の強豪校でキャプテンをやっていたりする。一部では矛盾を感じる部分をどれだけ地域と進めていけるか期待をしている。</p>
小栗会長	<p>各委員、ありがとうございます。他になれば、同じく議題（1）第2期子どもの未来応援プランの実績報告について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>議題（1）第2期子どもの未来応援プランの実績報告について事務局より説明</p>
小栗会長	<p>ありがとうございます。議題（1）第2期子どもの未来応援プランの実績報告について、委員の皆様から何かご意見ご質問等はございますか。</p> <p>始めに私から一点。数値目標の中で進んでいる、進んでいないような部分はあるか。</p>
事務局	<p>成果指標の10番、フードパントリーは毎月実施を予定していたが、実施する中で、様々な方々が集まり議論する場へと目的が変化していき、実情に合わせた実施回数となった。当課が担当している地域福祉計画の中でも相談業務の周知が足りないと実感しており、ホームページの改善など進めているが、様々な媒体で啓発してまいりたい。</p>
小栗会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>他になれば、議題（2）こども誰でも通園制度について、事務局より説明をお願いします。</p>

事務局 小栗会長	議題（２）こども誰でも通園制度について事務局より説明 ありがとうございました。議題（２）こども誰でも通園制度 について、委員の皆様から何かご意見ご質問等はございます か。
大野委員	先程も少し申し上げているが、本制度について私立保育園で ではあまり前向きでない傾向にある。趣旨が伝わっていないのもその要 因かもしれない。保育園側の受入体制が取れていないのではと感じて いる。保育士不足もあり、制度がまだなかなか見えてきていない。
事務局	国から示されていない部分もあるが、示され次第、早急に関 係機関には情報を伝えさせていただく。
小栗会長	子ども・子育て支援事業計画に係る量の見込みについては、 クリア可能であるか。
事務局	その見込みである。また、開始後の制度の利用状況によつて は、量の見込の変更が必要になることも考えられる。
小栗会長 安野委員	保育園も募集が厳しいと思われる。 施設のにも対応ができていない。質問であるが、一人当たり10時間 の利用とは、複数の施設で利用するとどう計算するのか。
事務局	システムで一律対応できるよう考えている。
安野委員	リアルタイムでできるものか。
事務局	現段階ではまだわからない。
小栗会長	本制度は、国が主導で進めている施策であることから市が できる限りの形で対応することととなってくるが、事務局から 説明のあったとおり、本会議の意見としては、提示いただいた 条例案の資料について、異議なしということによろしいか。
各委員	異議なし
小栗会長	議題（２）こども誰でも通園制度については、本会議として 事務局案を承認とする。 なお、本制度において再度会議で図る必要ある事項はある か。
事務局	令和８年４月１日の制度施行前に、民間保育所で実施する場 合の認可と量の見込みを変更する必要があるため、次回の会議 に審議していただく予定である。
戸塚委員	保育所に入所できない外国籍のこどもも利用可能か。
事務局	可能である。言語等にはＩＣＴを活用した対応を考えてい る。
戸塚委員	外国籍のこどもも無理に言語に拘らず、日本語で育てる必要 があると思う。外国籍のこどももふじみ野市の同じこどもと して受け入れをお願いしたい。

小栗会長 事務局	特になければ議題（３）その他について事務局から説明をお願いします。 次回の会議は、令和８年３月下旬を予定している。改めて案内をださせていただくので、出席の御協力をお願いしたい。 ４ 閉会